

2021 第1回 一橋 日本史 予想模試⑤ 概評

出題分析		
試験時間 120分	配点 学部により異なる	大問数 3題
分量 (昨年比較)〔減少 同程度 増加〕		難易度変化(昨年比較)〔 易化 同程度 難化〕
<p>【概評】</p> <p>。今回の模試は比較的答えやすい問題が多かったのではないかと感じる。特に在郷商人、天皇大権、天皇機関説などは過去問にも出題歴が多くあり、過去問をよく研究していた受験生にとってはたやすい問題であったと感じる。一橋日本史の特徴として、明治憲法の規定に関しては非常に深くまで掘り下げる印象があるため、苦手としている人は早急に対策をしないと本番で痛い目にあうだろう。特に統帥権に関しては何度も復習しておくこと。また、軍政と軍令の違い(一橋オープンで出題あり)は非常に重要な部分かつ今後出題される可能性がある。また、政党政治にとって明治憲法がメリットであったのかデメリットであったのか(2006年に出題)は重要な論点であり、しっかり理解していないと答えられない良問であるので復習しておこう。ただ大問3は少し難しかったかもしれない。特に問2の満州事変の背景としては国際的視野が求められる。日本だけにとらわれず、同時代の世界情勢も把握しておく必要がある。</p>		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	享保の改革・百姓・在郷商人の形成過程と五品江戸廻送令・横浜港の地理的優位	<p>大問1は近世の政治と社会経済史についての問題。近世の社会経済史を押さえていけばあまり苦労はしないかと感じる。百姓と農民の違いは一橋受験生なら過去問で勉強したと思う。(2013年に出題) 問1は享保の改革の背景と内容について。背景としては諸色高米価安という状況を押さえておこう。新田開発の進展と農業技術の発展により米の収穫量が上がって米価が下落し、城下町などの消費の拡大で物価が高騰した。享保の改革の内容については過去問で既出(1999、1984年、2019年一橋実践模試)。必ず押さえておくことは、株仲間の公認と堂島米市場の公認である。標準。問2は百姓。百姓は本来は農業に限らず様々な職業の人々を含む総称であり、また村落共同体の成員として、その権利と義務をもつ住人という意味もあったが、近世以降に商人などの城下町集住という社会分業が進んで農民=百姓という体制が事実上形成されていった。易。問3は在郷商人の台頭の背景と五品江戸廻送令の内容。五品を全てかけるかどうかは疑問。ただ一橋日本史には四木の説明(2010年)など細かい内容を問う問題もあるので軽視しないこと。在郷商人の台頭に関しては商品経済の発展を書けば十分。在方と町方は区別されていたが、徐々に農村でも町方と同様な経済活動が浸透し始め、農民の商人化が進んだ。ただ、そのような商品経済の発達には、一方で農民の没落も促したことも押さえておくこと。やや難。問4は横浜の優位性について。以外に思いつかないかもしれないが、江戸に近いこと、および当時の主要輸出品を思い浮かべよう。標準。</p>	標準

II	<p>明治憲法における天皇大権と財政民主主義の欠陥・西園寺公望・大津事件</p>	<p>この大問が一番答えやすかったか。天皇大権については再三言うが、いつ出てもおかしくないののでしっかり勉強しておこう。特に統帥権は重要。問 1 は天皇大権を 3 つ説明。過去問には 2 つ書けという問題があったため、今回は 3 つにしておいた。天皇大権については(2012、1996、1991 年)に出題あり。最も重要なのが統帥権であり、議会だけでなく内閣の関与も許さなかったことを押さえておこう。ただ統帥権は明治憲法における規定は無く、あくまで「慣習的」なものに過ぎない曖昧なものであったため、後の統帥権干犯事件が生じた。標準。問 2 は難問。政府が議会を通さずとも前年度予算を執行できたことを書けばよい。ただ、日清戦争など軍事費が拡大していく局面ではその権限は効力を発揮できず、議会との妥協を図るほかなかった。難。問 3 は割愛。易。問 4 は大津事件について。(1991 年に既出)教科書を読んでおけば答えられたはず。「児島惟謙」など、漢字が難しい用語はノートにまとめておくなり対策をしておくこと。標準。</p>	<p>やや易</p>
III	<p>天皇機関説とその意義・満州事変の必然性・太平洋戦争の建て前・最高戦争指導会議</p>	<p>大問 3 は今回は近代まで。一橋日本史で出題されやすいと思われる内容を集めた。問 1 は天皇機関説の内容とその意義。内容は書きやすいがその意義をかけるかどうか。キーワードは君主権の制限および政党政治の理論的支柱である。意義を書けるかどうかで合否が分かれる可能性もある。明治憲法では天皇大権など天皇に強大な権限が与えられていたイメージがあるが、一方で議会に予算先議権があるなど、君主権を制限しすぎなのではと思われる面もあった。(詳説日本史研究を参照)。標準。問 2 は難問。満州事変の背景としては世界恐慌とロンドン海軍軍縮条約の存在が大きかったと思われる。軍縮条約が締結された直後であれば列国による軍事的圧力は受けにくいと考え時間がたつ前に行動に移したのだ。難。問 3 は太平洋戦争の正当化について。(1996 年に既出)。自衛という概念を生み出した不戦条約の存在が鍵。標準。問 4 は難問。2018 年に大本営政府連絡会議が出されたことから類題として出した。難。</p>	<p>やや難</p>